

本庄市広報観光大使に 新たに25名就任

市の魅力を発信・応援する「本庄市広報観光大使」について、4月より新たに5名の方に就任いただきます。これまでの4名の大使の方に加え、合計9名となりました。

皆さんさまざまな分野で活躍されており、それぞれの活動の場において、経験・スキルを活かして市の魅力を広め、地域活性化に貢献していただきます。

広報観光大使ってなに？

本庄市にゆかりのある著名人に市をPRしていただくことで、市の知名度向上、イメージアップ、観光などの地域振興を図るものです。著名人だからこそ可能な情報発信力を活かし、全国に「本庄市を知ってもらう」ことにつなげていきます。



ラリー ドライバー



新井 大輝 さん

本庄東高校出身。20歳の時にラリーを始め、大学生の時にトヨタ自動車のドライバーオーディションに合格。ラリーの本場フィンランドで名誉あるMVP賞を、アジア圏のドライバーで初めて獲得。

その後スバルへ移籍し、2020年に全日本ラリーチャンピオンを史上最年少で獲得。現在は自身でチームを立ち上げ、2023年のWRC JAPANでは2輪駆動部門で世界で3人しか達成していない4輪駆動部門も含めた総合10位に入る快挙を達成。

抱負をひとつ！

ラリーという競技は、海外では日本のお祭りと同じように盛り上がり、非日常を演出してくれる素晴らしいイベントです。本庄で日本一盛り上がるラリーを開催し、同時に地元を盛り上げ、僕なりに恩返しできるように地域貢献に尽力していきたいと思います。

お笑い芸人



アンゴラ村長 さん

本庄市出身の芸人。早稲田大学本庄高等学院卒業、18歳まで本庄市で暮らす。キングオブコント2017では、「コンビ結成最短」「女性として初」「最年少」で決勝に進出し準優勝。『にゃんこスター』としてライブでのネタ披露や、テレビ出演、エッセイの執筆等も行う。

テレ玉の番組「いまドキッ！埼玉」にレギュラー出演中。なわとびが得意でギネス記録を持っている。

抱負をひとつ！

本庄で暮らす人と、遊びに来てくれる人、皆さんのこの街で生まれる「楽しい！」がより増えるよう頑張りたい所存です。所存って言葉、初めて使いました。冬に、こども達となわとび大会を開催するのが夢です。

パラアスリート (ロービジョンフットサル)



岩田 朋之 さん

26歳の時に病気の影響で視覚に障害を負う。その後入学した筑波技術大学でロービジョンフットサル(LVF)と出会う。2015年にはLVF日本代表の主将として世界選手権に出場。

2017年障害者スポーツの環境充実を目指し、筑波大学大学院へ進学。在学中にCASOLUA(現所属)を立ち上げ、ロービジョン児のサッカー指導を開始。2019年に日本サッカー協会に就職、現在はダイバーシティ推進を担当。

抱負をひとつ！

LVF日本代表合宿地として多くの応援・支援をしてくれた本庄市は、全盲の国学者・塙保己一の生誕地。感謝の気持ちを胸に「世のため、後のため」本庄市の魅力と共生社会の実現に向けた取組を発信していきます。

パラアスリート (陸上競技・走り幅跳び)



小久保 寛太 さん

2015年4月、埼玉県立本庄特別支援学校入学と同時に、同校教諭で日本パラ陸上競技連盟強化委員の樋口進太郎氏に師事。もともとは短距離の選手だったが、樋口氏の進言を受け2017年から走り幅跳びを始める。

2021年に行われた東京パラリンピックでは、自身初となる7m超のジャンプを見せ、自身が持つ日本記録を更新して4位入賞。今でも練習場所の中心は本庄特別支援学校であり、パリパラリンピックを目指し、日々のトレーニングに励む。

抱負をひとつ！

スポーツをとおして本庄市を明るく元気にしたいと思います。本庄市のPRのために全力疾走、全力ジャンプで頑張ります。

彫刻家



ビクター・タン さん

24歳の時に病気の影響で視覚に障害を負う。視覚障害者協会で点字を学んでいた時に出会った粘土アートに癒されたことをきっかけに美術学校で陶芸や彫刻の創作に没頭。空間にステンレススチールワイヤーで描く、独自の作風を確立し、パリ、上海、シンガポールなどの公園等に設置する彫刻の分野で多彩な作品を発表。

日本での初の個展「ハグ」を市内のMY CASAで開催したほか、国内外で多くの個展を開催している。

抱負をひとつ！

2年前にシンガポールから本庄市にやってきました。本庄市の人びとはとてもフレンドリーで親切です。美しい自然や、本庄で採れる新鮮な野菜が大好きです。本庄市の魅力をいろいろな人に伝えていきたいです。